

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

大障教専門部交渉

7月29日、大障教は、専門部交渉を実施しました。7専門部29人が参加し、各専門部が重点要求について、府教委の見解をただし、勤務労働条件の改善を求めました。

◇臨時教職員問題対策部

臨時教職員と正規職員との間の均等待遇を求めました。臨時的任用職員の処遇については、「給与に関する条例において、教育職1級と定められている」とし、「臨時



交渉には7専門部が参加しました

的任用職員の初任給については、上限号給の見直しを含めて提案協議したところである」と説明しました。大障教は、給料表2級を適用している他府県の例を示して、同一労働同一賃金となるよう追及、府教委は、「他府県の状況等は把握はしているが、大阪府の現時点においては、給与条例上、教育職給料表2級は教諭の職務の級であり、臨時講師に適用することは困難である」と述べるにとどまりました。



臨時教職員問題対策部
増賀さん

◇青年部



青年部
樋口さん

学年主任や分掌長等校長人事による青年の負担増の実態や、「全校一斉休日」など「働き方改革」の流れのなかで、仕事は減らずに早朝勤務や持ち帰り仕事が増えている実態を示し、長時間・過密労働解消のための実効ある措置を講じるよう求めました。府教委は、「府立学校における働き方改

◇寄宿舎教員部

寄宿舎教員の平均年齢や寄宿舎教育の継続性の問題を示し、採用選考実施による正規職員配置等の教職員の負担軽減を求めました。府教委は、「標準法に基づき配置を基本として、学校の実情も考慮しながら配置を行っている」と回答し、「今の寄宿舎教員の年齢構成については把握している。支援教育課と人事課で検討させていただきます」と述べました。また、寄宿舎の存続について話が及ぶと、府教委は、「聴覚支援学校高等部の通学区域制を府内全域とした後の動きと今後の児童生徒数の推移やニーズ、施設の状態等を検討材料として支援教育課と人事課で連携していく」と説明しました。



寄宿舎教員部
白木さん



青年部
松石さん

革にかかる取り組みについて』に基づく取り組みを着実に実施していく」と答え、「多忙解消に向けた先進事例等を紹介し、各学校の状況に応じた職員の業務時間軽減の取り組みを促している」と説明しました。10年経験者研修における負担軽減について大障教は、レポートの負担軽減、長期休業を活用した回数縮減、障害児教育の専門性向上につながる研修内容改善等を行うよう訴えました。府教委は、「アドバンスドセミナー等研修の弾力的な運用の周知や、負担減・内容改善については現場の声を聞いて教育センターとも連携して考えていきたい」と答えました。

(裏面に続く)

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



このまま、どこか遠く
連れてって、くれないか、
君は、君こそは、
日曜日よりの使者、♪

THE HIGH LOWSの「日曜日からの使者」だ。ホンダCMに起用され、「Do you have a HONDA?」が耳に残る。この曲を聴くとバイクに乗りたくなる。

バイクシーズン到来。車とバイクの違いは、遮るものがないことだ。バイクは360度視界が開けている。日差し、匂い、温度、湿度、風、すべてを感じながら、エンジンの振動と熱、排気音とともに駆け抜ける。大型バイクなら「怒涛の加速」を体感できる。ぶっ飛ばさず感じた。

バイクレースに「マン島TTレース」がある。田舎の公道レースで、サーキットにある安全地帯がない。「転倒＝重大事故」のコースを、平均時速210キロ以上、最高時速320キロで疾走する。見るだけで恐怖を感じるレースで、毎年、多くのライダーがしのぎを削る。

1950年代、日本の町工場が「マン島」に挑戦した。当時、世界のバイクはリッターあたり150馬力、日本のバイクはリッターあたり50馬力程度だった。その町工場は本田技研研究所無謀に思えた挑戦は、3度目のレースで結果を残し、125ccクラス、250ccクラスで1位、5位を独占した。

本田チームを率いたのは本田宗一郎。彼は、「技術はあくまで末端のことであり、思想こそが技術を生む母体だ」と述べた。教育も同様だろう。「この子らを世の光に」と言った糸賀一雄の言葉が思い出される。(久)

(表面よりの続き)

◇栄養教員部



栄養教員部 豊田さん

栄養教諭の複数配置、病
気休暇や介護休暇等の代替
者を速やかに配置すること
により教職員の負担軽減を
図るため、講師登録の実施
等の具体的な方策を行うこ
とを求めました。府教委は、
〔法令に基づき〕栄養教諭

◇女性部

不妊治療にかかる特別休
暇の創設について、府教委
は「不妊治療にかかる休暇
制度については他府県の状
況を踏まえて検討している」
と回答し、「不妊治療に対す
る支援が必要であることは
認識している」と述べまし
た。休職にあたっての手續
きの簡素化については、「条
例上、2名の医師の診断が
必要である。特に入院等の
理由により取りにくい場合
は個別の相談で対応してい
る」と説明しました。「妊娠
中の体育実技担当教員の実

については、給食を実施す
る学校に一人配置としてい
る」という従来通りの説明
でした。大障教は、今年度4
月から寄宿舎設置3校の舎
食を一人の栄養士が担当す
る中での煩雑な業務による
負担や給食担当の栄養教諭
にも負担が生じている等の
実態を示し、栄養教諭の負
担軽減を強く求めました。
府教委は、「栄養教諭の勤務
のしんどさや寄宿舎の現状
については把握・認識して
いる。業務負担軽減したい
と考えている」と回答しま
した。



女性部 前田さん

技時間の軽減措置」の対象
に栄養教諭等も含めるよう
求めました。府教委は、「児
童生徒の介助業務等」に「直
接従事しない栄養教諭は本
制度の対象外」と説明しま
した。大障教は、栄養教諭の
勤務実態を具体的に示すと
ともに、実態を把握するよ
う主張しました。

◇事務職員部



栄養教員部 金澤さん

「就学奨励費事務にかかる
システム」導入、マイナン
バー取得等により、現場の
多忙化と混乱が生じている
実態を示し、システムの改
善や操作説明会の毎年実施、
各種操作マニュアルの充実
等を行うことを求めました。
府教委は、「現在、就学奨励
費事務にかかるシステムの
改善に取り組んでおり、事
務職員の皆様が使いやすい
ものに機能向上させたうえ
で操作マニュアルの充実を
図っていく」と回答し、「毎
年度初めに実施している事
務の説明会においては、操
作の説明も含めてあわせて
行っていく」と述べました。
また、大規模校及び寄宿舎
設置校には実態に応じた加
配を緊急に行うことによる
事務職員の負担軽減を求め
ました。

市内ブロック教研

ブロック別
学習会
シリーズ①

今年の夏も大障教のとりくみとして、ブロック別に集まって学習会を
行いました。大障教ニュースで各地の様子をシリーズでお知らせしてい
きます。第1回目は、大阪市内ブロックです。

南視覚支援を訪問しました

今年度の市内ブロック教研は、夏期休業中の8月9日(金)に大阪府立
南視覚支援学校で開催しました。市内ブロックの各支援学校を訪問し、
各学校の枠組みや種別ごとの違いなどを知る機会になればと企画しま
した。第1回目として、大阪南視覚に5分會(南視覚、北視覚、東淀川、
西淀川、東住吉支援分會)から16名が参加し交流しました。

第1部では、大阪南視覚
支援学校、高等部療科の
組合員の先生より、「専攻科
療科について」お話をし
ていただきました。専攻科
療科で学べる高度な専門
的知識の一端を知る良い機
会となりました。特に、実際

の鍼灸治療の打ち方の説明
では、食い入るように真剣に
聞く参加者の姿が印象的で
した。

続く第2部は、大阪南視
覚の学校施設の見学を行
いました。建て替えられた校舎
の経緯などを聞きながら、新

しく整った各教室の施設設
備に、他分會の参加者から
は「すごいね!」「いいね!」
の声が続きました。
特に、老朽化が進む旧市立
の各支援学校の施設設備の
改修・整備も、大障教が進め
る知的支援校の新校整備と
進めていく予定です。



事務職員部 古川さん
と山本さん

◇実習教員部

総括実習教員、総括寄宿
舎指導員の選考について、
府教委は、「職の任用数に一
定の制限を設けざるを得な
いことから困難」である。ま
た、実習教員、寄宿舎指導員
の教諭任用については、「平
成31年度教員採用選考テ
ストにおいて、通算の勤務

経験を考慮した選考を実施
したところである」と説明
しました。大障教は、再任用

時に週20時間以上の勤務
形態を選択可能とすること
等で希望者全員に社会保険
を適用できるように、他府県
における週20時間以上の
勤務形態の適用状況につ
いて示し、大阪府での検討を
求めました。府教委は、「社
会保険制度については注視
していく」との説明にとど
まりました。



実習教員部 田中さん



教研の様子